

## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 シリウスビジョン株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6276 URL https://siriusvision.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 辻谷 潤一  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 日沼 徹 TEL 045-595-9288  
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	482	10.2	△67	-	△59	-	△41	-
2023年12月期第1四半期	437	12.7	△35	-	△17	-	△38	-

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 △59百万円 (-) 2023年12月期第1四半期 △25百万円 (-)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	△8.90	-
2023年12月期第1四半期	△8.29	-

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	3,194	2,637	80.5
2023年12月期	3,356	2,744	80.1

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 2,572百万円 2023年12月期 2,688百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2024年12月期	-	-	-	-	-
2024年12月期(予想)	-	0.00	-	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

## 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	22.4	200	253.0	260	116.5	280	209.9	60.62

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
除外 1社（社名）納維達斯机械（蘇州）有限公司  
（注）詳細は、添付資料8ページ、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
（注）詳細は、添付資料8ページ、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期1Q	5,722,500株	2023年12月期	5,722,500株
② 期末自己株式数	2024年12月期1Q	1,103,923株	2023年12月期	1,103,923株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期1Q	4,618,577株	2023年12月期1Q	4,599,586株

（注）期末自己株式数には、「株式給付信託（J-ESOP）」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2023年12月期179,100株、2024年12月期1Q179,100株）が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式を、期中平均株式数の算定において控除する自己株式数に含めております（2023年12月期1Q179,300株、2024年12月期1Q179,100株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2024年1月1日～2024年3月31日）における日本経済は、コロナ禍からの社会・経済活動の正常化が進んでいくなかで、緩やかな回復が続きました。個人消費は、国内旅行の回復などがみられたものの、エネルギーコストや原材料価格の高騰に伴う物価上昇等により、持ち直しの足踏みがみられました。企業の設備投資は、製造業を中心にコロナ禍や物価高により先送りしてきた更新投資等を背景に、好調に推移しました。特にIT投資については、金融業や製造業を中心に幅広い業種で投資意欲が高い状態にあり、好調に推移しました。

こうした経済環境の中、当社グループのビジョンであります「モノづくり現場の目視検査ゼロ」を実現するために、研究開発投資を維持しながら中期経営計画を達成するための事業戦略を遂行してまいりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、前年同四半期4億37百万円に対し約10%アップの4億82百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における画像検査事業は、ラベル印刷業界から簡易操作性と高精度検査技術が高く評価されている当社主軸の画像検査ソフトウェア「AsmilVision」を搭載したロールラベル検査機「S-Labシリーズ」と、多機能ソフトウェア「FlexVision」を搭載した検版機「S-Scan-LNC」およびボトル・容器検査機「S-Bottleシリーズ」の販売が堅調に推移しました。また、3年間にわたり高額の研究開発費を投資して開発してきた高速・広幅印刷検査用ソフトウェア「PolarVision」が、当社にとって新市場であるグラビヤ印刷と紙器パッケージ印刷の大手企業から高い評価を得て、導入にいたりました。さらに、新製品のスマートシリーズであるラベルプリンタ連動検査機「S-Lab-Combi」や枚葉印刷検査機「Smaco」、「S-Lab-Smart」などの大手印刷メーカーへの導入に成功し、売上増に寄与しました。これらスマートシリーズは、今後のリピート導入が期待されています。

一方で、国内大型案件の搬送機械製造の遅延による受注・納品の遅れや、中国メーカーに製造委託したラベル検査用搬送機や特注機械の長納期化により、当初の売上計画からの乖離が生じてしまいました。このような状況下におきましても、研究開発投資の継続と、開発者・技術者および営業担当の採用を積極的に行ってまいりました。

当社画像検査事業をAI(人工知能)とDX(デジタルトランスフォーメーション)・クラウドサービスで支えるUniARTSは、ラベル印刷メーカーや紙器・パッケージ会社への導入が進みました。特に、医薬品や化粧品、食品パッケージメーカー大手が当社のAI技術を高く評価し、導入を決定するとともに、印刷工場の自動化に向け製造ラインの再構築をスタートさせました。4年以上にわたり高額な研究開発投資を続けて開発してきた当社AI検査技術が数多くの印刷工場現場に採用されはじめています。

ウェブソフトウェアとクラウドサービスの企画・開発・運営を行う株式会社ウェブインパクトは、当第1四半期連結累計期間も引続き当社グループ収益に貢献しました。「Web給（給与明細サービス）」、「sync（スケジュール同期サービス）」、「QuickGate（スキー場チケット販売サービス）」などのプロダクト販売や、受託開発、システム運用などが安定した収益の獲得に寄与しています。申請審査システムは、前連結会計年度に引続き行政サービス向けに引合いが続いており、販売も堅調に推移しました。

海外市場は、前連結会計年度からさらに厳しい業績となりました。中国(シリウスビジョン上海)画像検査事業は、昨年後半からの中国経済悪化による不況が長期化し、予定していた化粧品・医薬品ボトル検査機やチューブ検査機の納品・受注が大きく遅れました。取引先である中国搬送機メーカーによる機械開発・製造の遅延も発生したため、業績はさらに悪化しました。しかし、昨年下半年から市場開拓を始めた検版とラベル検査市場からの引合いと受注が増えており、第2四半期の業績回復に向けた明るい兆しが出てきています。ASEAN画像検査事業の中のタイ(シリウスビジョンタイランド)は、日本とタイ間の営業・技術連携強化を進めるとともに、バックオフィスに情報共有システムを導入し、業務の効率化を図りました。これらの施策により、前年度と比較して業績は回復しました。しかし、ベトナム(シリウスビジョンベトナム)は引続き厳しい業績が続いております。以上より、海外連結子会社が当社グループの連結業績に影響をあたえました。

上記のとおり、当第1四半期連結累計期間（2024年1月～3月）の当社グループ売上は、海外事業の業績悪化と搬送機製造の納期遅延が影響し、計画と乖離した結果となりました。しかしながら、今期の計画達成と来期以降の持続的成長のために、新技術・新製品の研究開発投資、ソフトウェア新製品開発投資、及び新市場開拓など、積極的に投資を続けてまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の研究開発費投資額は、76百万円を計上いたしました。また、新技術・新製品の研究者・開発者の増員（前年同期比で画像検査事業関連の開発者・技術者は約15%増）とともに、国内外営業担当の増員など、来期に向けた人員体制の強化のために積極的な人材投資を実行してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は4億82百万円（前年同期比10.2%増）となりました。また、利益面におきましては、営業損失は67百万円（前年同期は35百万円の損失）、経常損失は59百万円（前年同期は17百万円の損失）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は41百万円（前年同期は38百万円の損失）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

財政状態について、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1億61百万円減少し、31億94百万円となりました。これは主として、電子記録債権が33百万円、仕掛品が56百万円、ソフトウェア仮勘定が19百万円、投資有価証券が20百万円増加したものの、現金及び預金が16百万円減少し、また受取手形及び売掛金が3億43百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して54百万円減少し、5億57百万円となりました。これは主として未払消費税等が50百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して1億6百万円減少し、26億37百万円となりました。これは主として、その他有価証券評価差額金が13百万円増加したものの、為替換算調整勘定が41百万円、利益剰余金が89百万円減少したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末と比較して0.4ポイント増加し、80.5%となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の通期の連結業績予想につきましては、2024年2月14日に発表いたしました業績予想の数値に変更はありません。

当第1四半期連結累計期間の連結決算は、売上高4億82百万円、営業損失は67百万円となっておりますが、業績に大きく影響した海外事業の業績落ち込みへの対策を実施済みであり、新技術・新製品の研究者・開発者中心に積極的に採用して参りました技術者の育成が進み、通期の売上向上に貢献できるスキルを身に付けてきています。そして5年以上に渡る研究開発投資による新製品が当期から当社画像検査市場の拡大と売上向上に大きく貢献し始めてきております。特に、高度な専門技術と開発経験を持つ技術者を登用するとともに、高額な開発投資を継続してきたAI（人工知能）が数多くの大手印刷メーカーに採用され、印刷工場現場の「目視検査ゼロ」をめざし稼働を始めています。

当社オンリーワンの画像検査技術とAIの融合により、当社グループのビジョンである「モノづくり現場の目視検査ゼロ」の実現が近づいてまいりました。このビジョンの実現により、当社グループのミッションである「オンリーワン画像検査技術で世界の製品品質向上に貢献し人々の生活に豊かさと幸福をもたらす」ことができると考えております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,083,280	1,066,281
受取手形及び売掛金	673,922	330,245
電子記録債権	2,324	35,648
商品及び製品	50,677	53,177
仕掛品	291,445	347,877
原材料及び貯蔵品	316,404	317,334
未収還付法人税等	1,601	1,799
その他	194,567	228,786
貸倒引当金	△5,494	△5,315
流動資産合計	2,608,728	2,375,836
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,320	1,264
機械装置及び運搬具(純額)	956	1,042
その他(純額)	2,692	2,461
有形固定資産合計	4,969	4,767
無形固定資産		
のれん	53,475	51,336
ソフトウェア	165,494	181,979
ソフトウェア仮勘定	51,394	71,055
無形固定資産合計	270,364	304,371
投資その他の資産		
投資有価証券	422,590	442,830
その他	57,120	74,791
貸倒引当金	△7,721	△7,721
投資その他の資産合計	471,989	509,900
固定資産合計	747,322	819,039
資産合計	3,356,051	3,194,875

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	227,220	200,123
リース債務	858	735
未払法人税等	18,731	19,097
未払消費税等	61,181	10,995
賞与引当金	31,895	11,824
その他	217,454	251,152
流動負債合計	557,341	493,927
固定負債		
リース債務	735	674
株式給付引当金	30,206	33,042
繰延税金負債	14,409	20,863
その他	9,299	9,299
固定負債合計	54,650	63,880
負債合計	611,991	557,808
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,946,096	1,947,049
利益剰余金	837,584	748,538
自己株式	△365,888	△365,888
株主資本合計	2,517,791	2,429,699
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,632	67,417
為替換算調整勘定	116,851	75,848
その他の包括利益累計額合計	170,483	143,266
非支配株主持分	55,784	64,101
純資産合計	2,744,059	2,637,067
負債純資産合計	3,356,051	3,194,875

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	437,581	482,240
売上原価	202,659	244,527
売上総利益	234,922	237,712
販売費及び一般管理費	270,705	305,244
営業損失(△)	△35,783	△67,532
営業外収益		
受取利息	125	135
受取配当金	717	1,295
受取賃貸料	2,574	8
為替差益	550	5,679
貸倒引当金戻入額	13,639	—
その他	654	568
営業外収益合計	18,263	7,687
営業外費用		
売上債権売却損	1	—
その他	10	—
営業外費用合計	11	—
経常損失(△)	△17,532	△59,844
特別利益		
子会社清算益	—	47,065
特別利益合計	—	47,065
特別損失		
減損損失	6,821	—
特別損失合計	6,821	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△24,353	△12,778
法人税等	9,418	19,048
四半期純損失(△)	△33,772	△31,827
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,364	9,284
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△38,136	△41,112



## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純損失(△)	△33,772	△31,827
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	2,889	13,785
為替換算調整勘定	5,543	△40,996
その他の包括利益合計	8,432	△27,211
四半期包括利益	△25,339	△59,039
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,731	△68,329
非支配株主に係る四半期包括利益	4,392	9,290

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

当社の連結子会社でありました納維達斯机械（蘇州）有限公司は、2024年2月2日付で清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

当第1四半期連結累計期間  
（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。